# モノコム
# モノコムブラッキー
# シルキーメカニカル

## 取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、当社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡し下さい。

タチカワブラインド

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や程度を次の表示で区分し、説明しています

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。 |

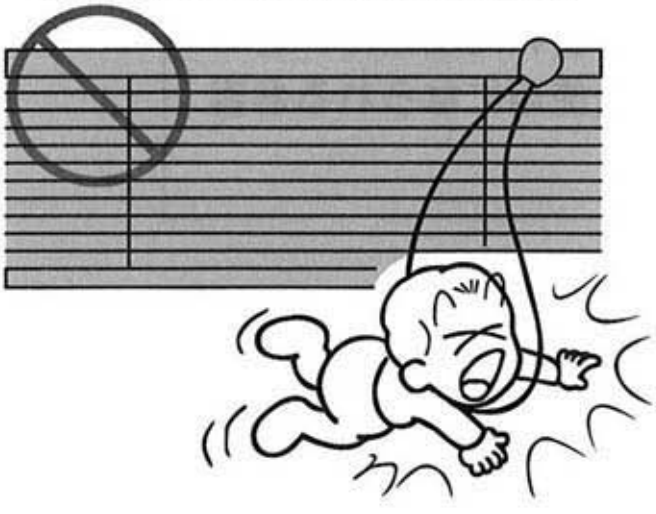
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⃠ | してはいけない禁止の行為です。 |

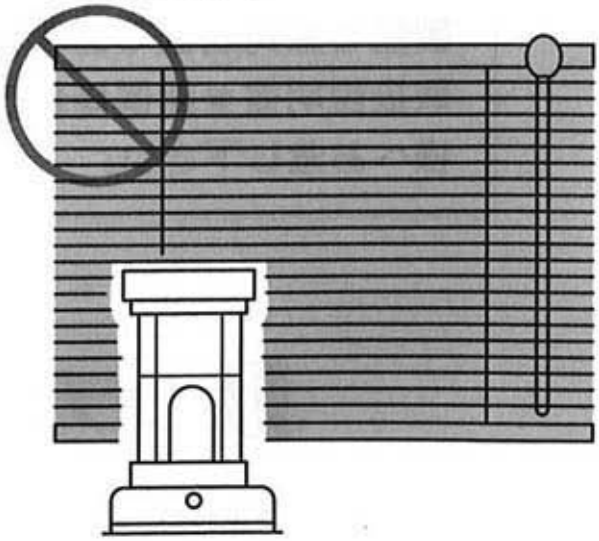
## ご使用になる前にお読み下さい

⚠ 警告

■お子様をコードで遊ばせないで下さい。コードが首や体に巻きつくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。



■火のそばではご使用にならないでください。コード類が溶けたり、燃えたりして危険です。

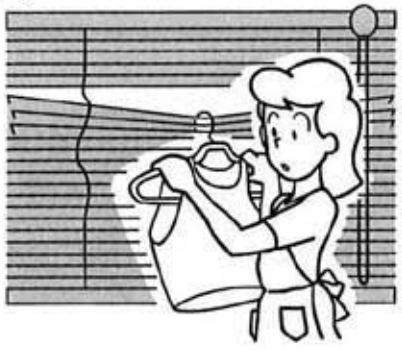


# 安全上のご注意（必ずお守りください）

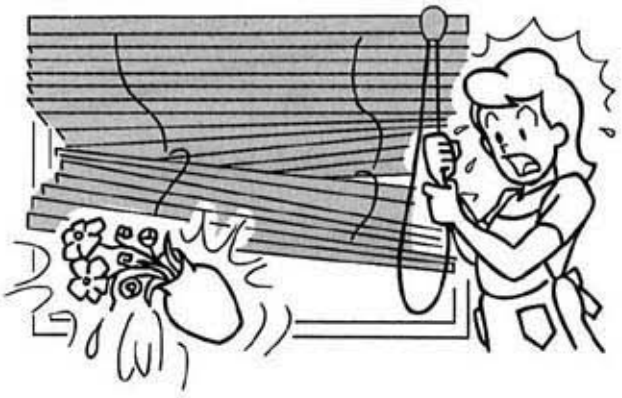
**⚠ 注意**

■コード類にぶら下がったり、無理に引っぱったりしないで下さい。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。

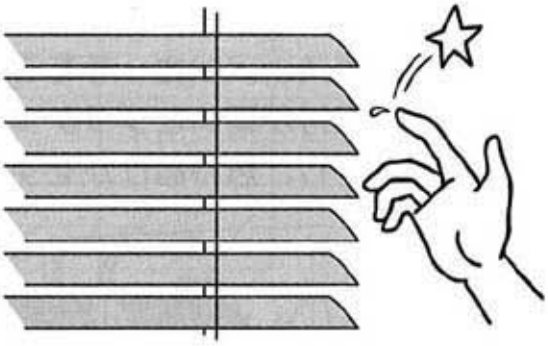
■製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。



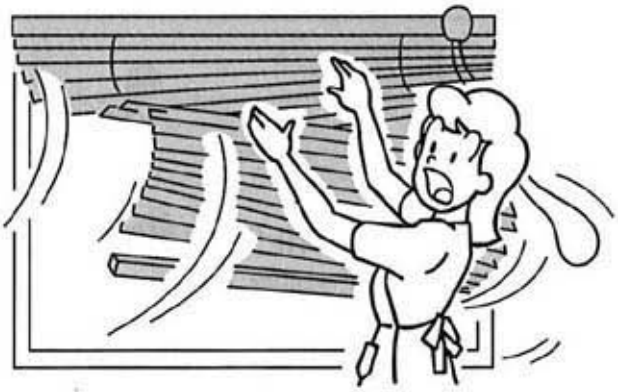
■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損する場合があります。



■スラット（羽根）の端部は不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。



■窓を開ける時は、できるだけブラインドを上げてください。特に風の強い時は注意してください。製品の破損や、思わぬ事故につながることがあります。



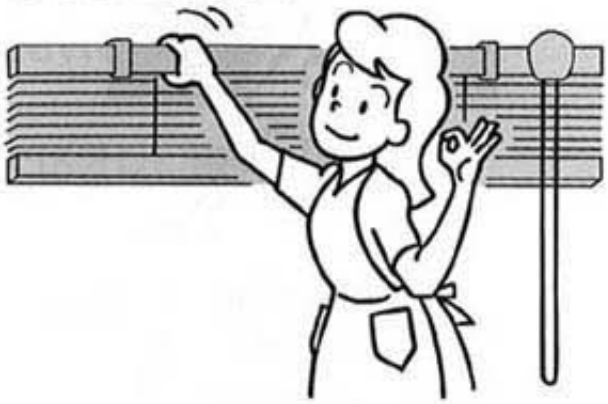
# 安全上のご注意（必ずお守りください）

## お取付けになる前にお読み下さい

⚠ 注意

■ブラケットをお取付けになる前に、取り付け部の下地、製品重量を確認して、それに応じたビス、アンカー等をご使用ください。取付が弱いとブラケットごと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります

■製品本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。



# 付属部品

●ブラケット

| 製品幅 | ～1830mm | 1840～3000mm | 3010～4000mm |
|---|---|---|---|
| 個数 | 2個 | 3個 | 4個 |

※ブラケット取付け用ビスは付属しておりません。ブラケット1個につき下地に応じた取付け用ビスを2個ご用意ください。

●遮光板ハンガー（モノコムブラッキーの場合のみ）

| 製品幅 | ～1830mm | 1840～3000mm | 3010～4000mm |
|---|---|---|---|
| 個数 | 3個 | 4個 | 5個 |

●オプション部品（ガイドレール）

| | |
|---|---|
| ガイドレール（タテ） | 2本 |
| ガイドレール（ヨコ） | 1本 |
| L型プレート | 2枚 |
| L型プレート止めビス（十字穴付ナベ小ネジ 呼び径4・呼び長さ5） | 8個 |
| 雑音防止ゴム（ガイドレール（タテ）に付属） | 4本 |

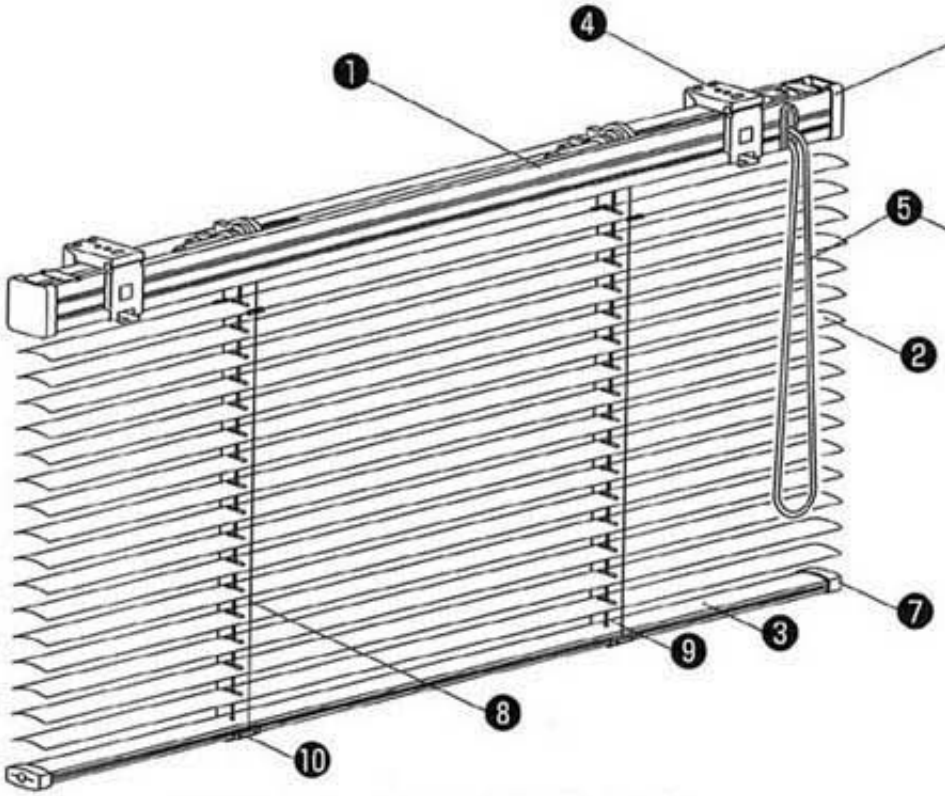
# 付属部品

※ガイドレール取付け用のビスは付属されておりません。ドリリングタッピンねじを別途ご用意ください。目安として、呼び径3.5mm・呼び長さ14mm程度のものを、下記個数用意してください。

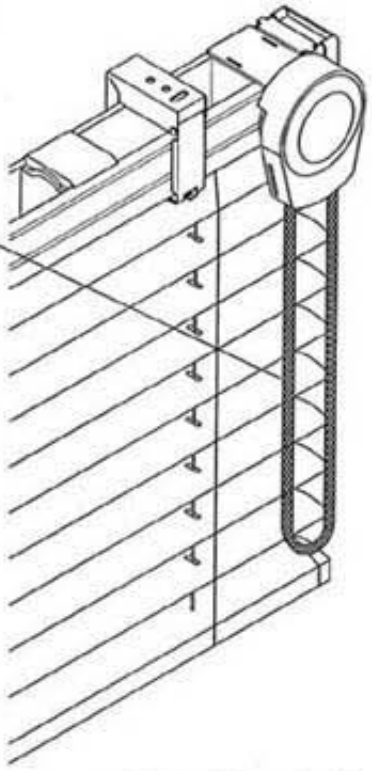
ガイドレール取付けビス必要数（個）

| ガイドレール(ヨコ)長さ / ガイドレール(タテ)長さ | ~900mm | 910~1600mm | 1610~2300mm | 2310~3000mm | 3010~3700mm | 3710~4050mm |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ~900mm | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 910~1600mm | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 1610~2300mm | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 2310~3000mm | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
| 3010~3700mm | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 3710~4030mm | 16 | 17 | 18 | | | |

# 各部の名称




図はシルキーメカニカル（右操作）



モノコム（右操作）の場合

※上図は右操作の場合です。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ❶ヘッドボックス | ❸ボトムレール | ❺操作コード | ❼ボトムキャップ | ❾昇降コード |
| ❷スラット | ❹ブラケット | ❻ボックスキャップ | ❽ラダーコード | ❿テープホルダー |

# 製品の取付けかた（モノコム、シルキーメカニカル）

（1）製品の確認

・製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。

（2）取付け下地の確認

・取付部の下地と製品重量を確認して、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

製品重量

| 製品名 | 重量（kg） |
|---|---|
| モノコム25 | W×H×0.6+W×0.94 |
| モノコム35 | W×H×0.5+W×1.04 |
| モノコム50 | W×H×0.6+W×1.15 |
| モノコムブラッキー | W×H×0.6+W×1.04+0.8 |
| シルキーメカニカル | W×H×0.6+W×0.94 |

※W・Hはm単位

取付け下地別の取付けかた

| 下地 | 取付けかた |
|---|---|
| 木 | 板厚が10mm以上あることを確認して、木ビスで取付けてください。 |
| スチール | 板厚が1.6mm以上あることを確認して、タッピングビスで取付けてください。 |
| アルミ | 板厚が2.0mm以上あることを確認して、タッピングビスで取付けてください。 |
| コンクリート | 専用のカールプラグで取付けてください。 |

**⚠注意**

**ブラケットをお取付けになる前に、取り付け部の下地、製品重量を確認して、それに応じたビス、アンカー等をご使用ください。取付が弱いとブラケットごと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。**

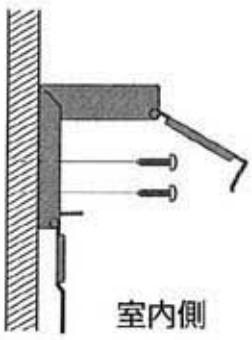
・取付部が水平になっているか確認してください。

・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

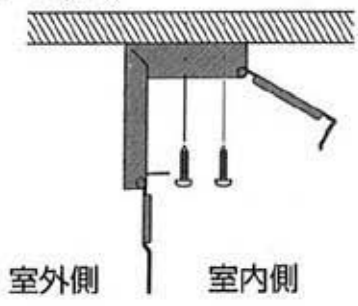
（3）ブラケットの取付け

①ブラケットの取付けかたには、図のような正面付け、天井付けがあります。

〈正面付けの場合〉



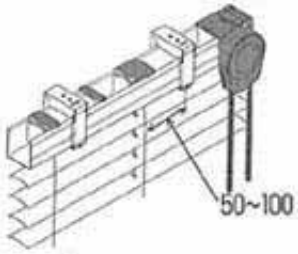

〈天井付けの場合〉



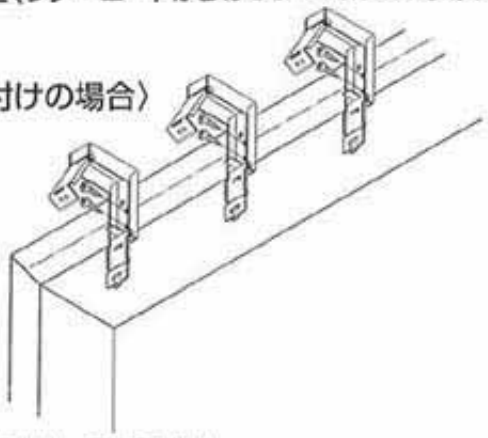
# 製品の取付けかた（モノコム、シルキーメカニカル）

②取付け面の製品両端から9cm（モノコムブラッキーの場合、操作側のみ20cm）の位置にマジック等で印を付けて、ブラケットを取付けてください。3個以上のブラケットの場合は、ブラケット間隔をほぼ均等にし、一直線上になるように取付けてください。

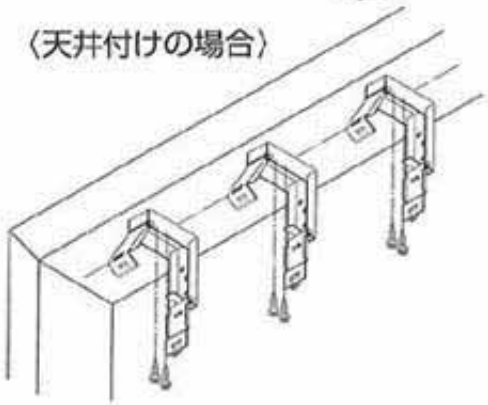
※操作位置、ラダーコード位置にはブラケットの取付ができません。それらをよけた位置（ラダーコートからは50～100mmよけた位置）に取付けてください。




〈正面付けの場合〉



〈天井付けの場合〉



（4）製品本体の取付け

①ヘッドボックスに付いている緩衝材等を取り除き、束ねている操作コードをほどいてください。

②ヘッドボックスを手で支えた状態で、ブラインドを10cmほど下げてください。

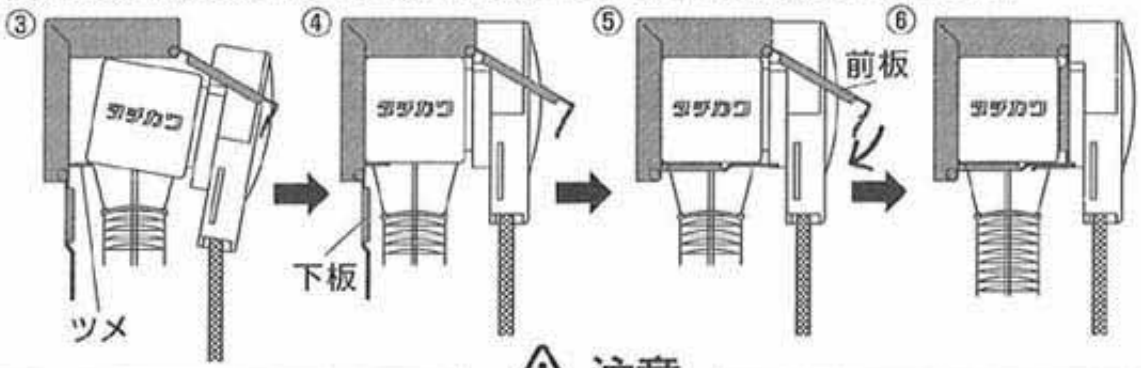
③ヘッドボックスを個々のブラケットのツメにのせてください。

④ヘッドボックスをブラケットのツメにのせた状態で、左右の位置を決めてください。位置が決まりましたら、ヘッドボックスをブラケットに押し込んでください。

⑤一番上のスラットとヘッドボックスの間に下板をいれ、ブラケット前板をはめ込んでください。（はまるとパチンと音がします）

※下板を入れる際、下板で一番上のスラットにキズを付けないようにしてください。また、スラットを無理に曲げすぎるとスラットが変形することがありますので注意してください。

⑥確実にヘッドボックスがブラケットに留まっていることを確認してください。




⚠注意

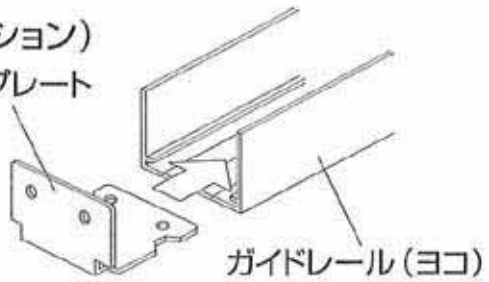
製品本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

# 製品の取付けかた（モノコムブラッキー）

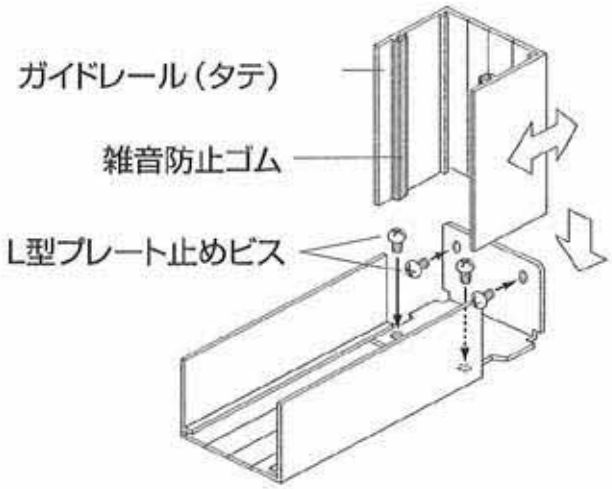
ガイドレールを取付けない場合は、5、6ページの取付け方法（モノコム、シルキーメカニカル）に従い、ヘッドボックスを取付けた後（4）（5）の作業を行ってください。

（1）ガイドレールの取付け（モノコムブラッキー用オプション）

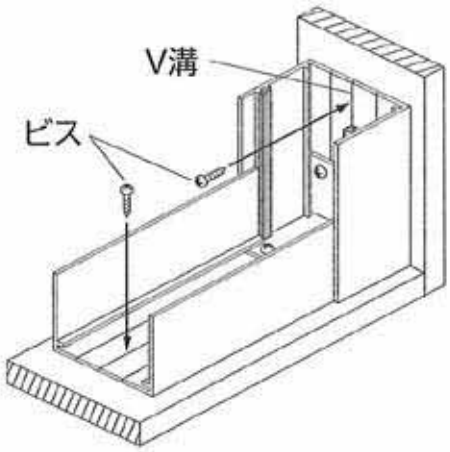
①ガイドレール（ヨコ）の溝にL型プレートの片側（長い側）を入れてください。




②図のようにガイドレール（タテ）を差し込み左右にスライドさせ、ガイドレールの幅を取付け枠の幅に合わせ、L型プレートをL型プレート止めビスで締めてガイドレールを取付け枠内に入れてください。




③ガイドレールを取付け枠にビスで固定します。図のようにビスをガイドレールのV溝に打ち込んでください。ビスの位置はガイドレールの両端から100mmで始め、その間は均等になるように取付けます。ビスの間隔は700mm以下を目安としてください。




※雑音防止ゴムが、ガイドレール（タテ）にあらかじめセットされています。ガイドレールをタテにすると雑音防止ゴムが抜け落ちますので、雑音防止ゴムを手で支えた状態で、ガイドレール（タテ）を差し込んでください。

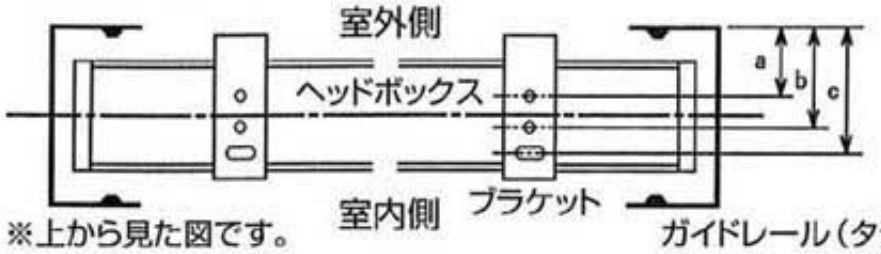
**⚠警告**

**ガイドレールは窓枠内取付け専用です。壁から持ち出して取付けることはできません。壁から持ち出して取付けた場合、コーナー部の角でけがをすることがあり、大変危険です。**

# 製品の取付けかた（モノコムブラッキー）

(2) ブラケットの取付け

5、6ページの「(3) ブラケットの取付け」に従って取付けてください。取付け位置は、下図のようにヘッドボックスがガイドレールの中心になるように取付けてください。ヘッドボックスが、ガイドレールの中心からずれていると、ブラインドを取付けられない場合があります。

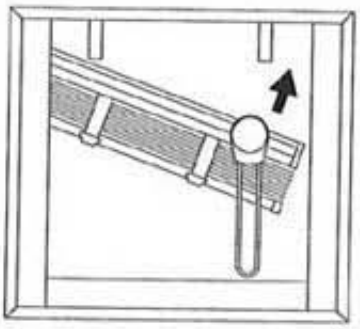



※上から見た図です。

| | 寸法(mm) |
|---|---|
| a | 28 |
| b | 40 |
| c | 50 |

(3) 製品本体の取付け

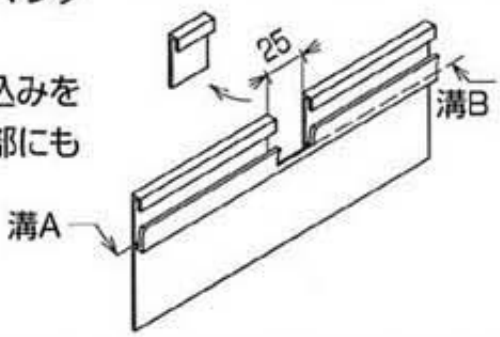
ガイドレール内にブラインドを入れ、6ページの「(4) 製品本体の取付け」に従って取付けてください。



(4) 遮光板の加工

①付属の遮光板がブラケットに当たる位置に印をつけます。マジック等でそれぞれ幅25mmの印を付けてください。

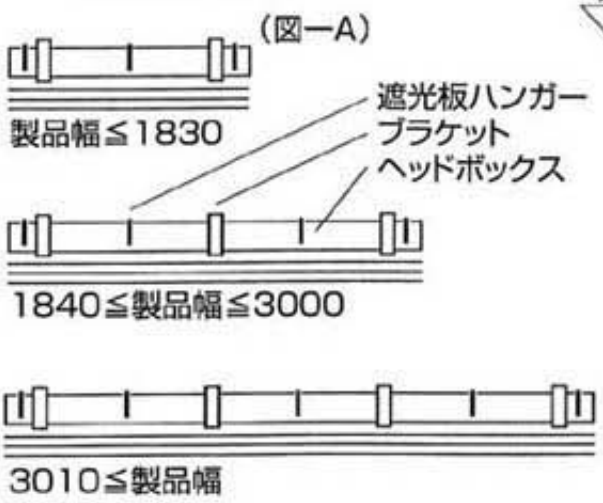
②図のように①で付けた印に合わせ、溝Aまで金ノコで切り込みを入れ、ペンチを用い溝Aで折り切ってください。また、軟質部にもカッターで溝Bまで切り込みを入れてください。

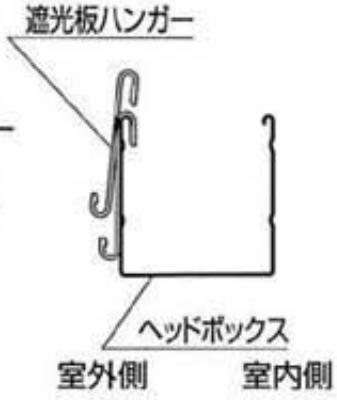


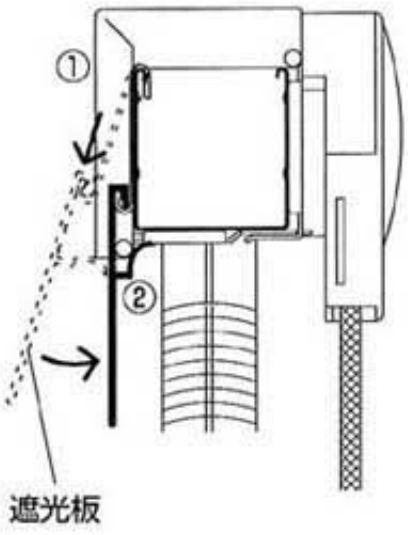

(5) 遮光板の取付け

①付属の遮光板ハンガーを、ヘッドボックス背面に取付けます。図のように、長いツメをパチンと音がするまで引っかけてください。位置関係は図-Aのようにしてください。

②下図のように遮光板ハンガーのもう一方のツメ（短い方）に遮光板上部を引っかけ、ブラケットに遮光板切り欠き部をはめ込み、遮光板軟質部全体をヘッドボックス下面に密着させてください。



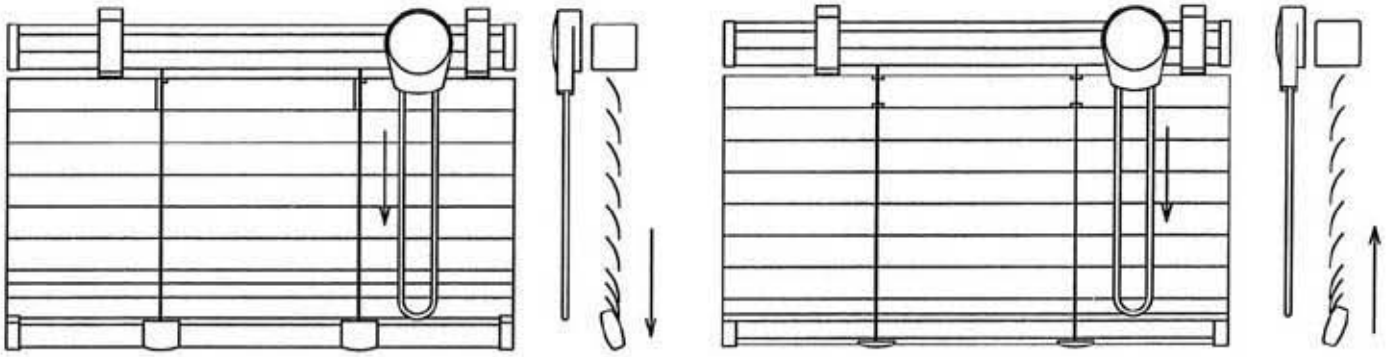



# 操作のしかた

操作コードの片方を真下へゆっくりと引き下げると、スラットの角度が変わりブラインドがさがります。もう一方の操作コードを引き下げると、スラットの角度が変わり、そのまま引き続けるとブラインドが上がります。

※下降時にボトムレールが障害物に当たると、それ以上下降しません。障害物を取り除きブラインドを一度上昇させた後、下降させてください。



**⚠注意**

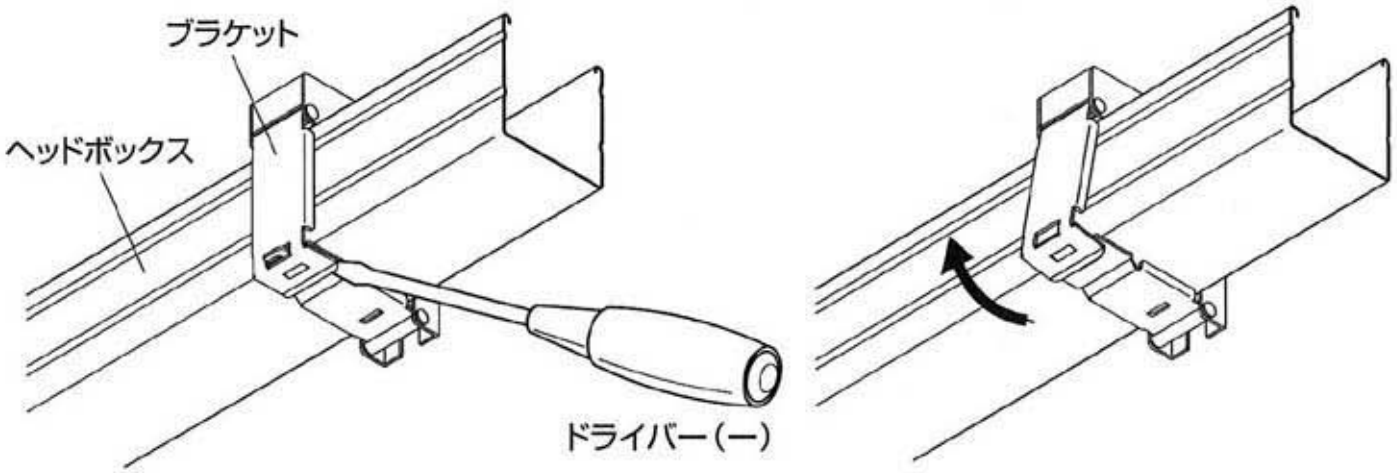
**スラット（羽根）が全部上がり切った状態、下がり切った状態になったら、それ以上無理に操作コードを引っぱらないでください。無理に操作コードを引くと製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。**

# 取外しかた

①操作コードを引き、ブラインドを上げます。（一番上のスラットとヘッドボックスとの間は少し余裕を持たせてください。）

②ヘッドボックスを手に受けた状態で、下図のようにブラケットの前板をドライバー（－）で外して下さい。

③ヘッドボックスをブラケットから外して下さい。



# お手入れのしかた

●日頃お手入れは羽根バタキ等でほこりを取り払ってください。
●油気の多い所では、こまめにふきとってください。
●製品の汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を布につけ、スラットの汚れた部分を拭き取ってください。
中性洗剤をつけたスラットは必ず水拭きをしてから、乾かしてください。

# 保証とアフターサービス

## 〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、お買上げ年月日より1年間は無償修理をさせていただきます。

※次のような場合は保証期間内でも有料となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけ下さい。
お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店までお問い合わせ下さい。

お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は
下記までお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社
本社:〒108-8334 東京都港区三田3丁目1番12号　TEL03-5484-6100(大代表)
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

※住所、電話番号は変更になる場合があります